



宮ベリー代表  
増田 則治さん  
(甲南町野川)

## 手作りブルーベリー園で地域の活性化を

栄養価が高く、甘酸っぱい味と香りが魅力のブルーベリー。ジャムや健康食品など多くの食品に使用される人気のある果物ですが、果実をそのまま食べる機会はあまり多くありません。

甲南町野川にある上野川営農組合のブルーベリー園「宮ベリー」は、実ったブルーベリーを摘み取ることができる農園として今年収穫3年目を迎えました。

「仲間では恵を絞りながら一つのことを進めていくことは楽しいです。それと来ていただいた方の『おいしかった、また来るよ』という言葉が聞くとやっぱりうれしいですね。」と話す同組合代表の増田さん。

地域の活性化の一つになればとの思いで地域の仲間10人で農園を始められました。整地、シート張りなど全てが手作りの農園で、当初はかなりの苦労があったそうですが、現在では780本のブルーベリーの木に大きな実がたくさん実っています。



▲大きく実ったブルーベリー

「最近農業はいろいろな難しい時代ですが、時代にあったやり方があると思います。初期投資や軌道に乗せるまでには大変なことがいっぱいありますが、やってみよう、そして成功させよう、という思いが大切だと感じます。」と増田さん。

とにかく甘くて粒が大きいのが自慢という宮ベリー。今年も出来は上々で今月末までブルーベリー狩りが楽しめるとのこと。ブルーベリーといえば宮ベリー、というぐらいにこの味を知ってほしいと話す増田さんの思いは尽きません。



▲ブルーベリー畑の前に増田さん

## 七夕の夜を彩る手筒花火

～矢川神社で七夕まつり～

訪れた人は、夕涼みを楽しみながら七夕の夜空を彩る花火を鑑賞、夏の幕開けを飾る風物詩を満喫しました。



▲祭りのクライマックス、手筒花火

**甲** 南町の矢川神社で7月7日、七夕まつりが行われました。この日、神社境内では七夕飾り約300本が立てられ、色とりどりの短冊がお祭りムードを盛り上げました。陽が落ち、あたりが暗くなると、甲賀手筒花火が登場。10数メートル噴き上がる火花は間近で見るとものすごい迫力です。

## ニュースポーツや昔のあそびを体験

～青少年のひろば2009～

1日でした。また、参加者全員で流しソーメンの交流昼食、さらに宝さがしゲームなどが行われ、公民館全体が楽しいひろばとなった。



▲ニュースポーツ「ベタンク」を楽しむ子ども

**柏** 木公民館で7月12日、「みんな集まれ！青少年のひろば2009」が行われました。このイベントでは、各種団体のご協力により、昔あそび、手作りおやつ、郷土を知ろう、ニュースポーツなどの体験コーナーが設けられ、参加した子どもたちは、歓声を上げたり、興味深く話を聞いたりしながらいろいろな分野の体験を楽しみました。

## やさしい光と音楽でエコを考える

～身近に楽しくエコを考えるつどい～

**水** □中央公民館と鹿深ホールで、7月5日、身近に楽しくエコを考えるつどいが行われました。この日は、廃食油から作ったメッセージキャンドルや、不要な紙を使った七夕飾りのコーナーが設けられ、訪れた人は、環境への願いを書き込んだり、飾り付けたりしました。



▲キャンドルにメッセージを書き込む子ども

300個のキャンドルが玄関前に灯され幻想的な空間を演出、癒しの中でエコを考えるひと時となりました。

## 交通安全の知識、技能を競いV7達成

～交通安全子ども自転車大会で大原小が優勝～

**大** 津市内で7月11日に開催された交通安全子ども自転車大会で、大原小学校が優勝、見事県大会7連覇を達成しました。この競技は、自転車に関する交通規則や道路標識などの学科テスト、横断歩道や踏切の安全な通過方法や、シグザクコースをミスなく走行できるかを競う実技テストによって審査されました。児童はこの日のために練習を重ねテストに挑み、見事なテクニクで安全



▲優勝した大原小学校の選手の皆さん

運転を披露しました。同校は8月6日に行われる全国大会に滋賀県代表で出場します。

## 日本とブラジルの遊びで交流

～甲南第二小学校～

**甲** 南第二小学校に7月6日、ブラジル小学校の児童が訪れ、交流を行いました。

この日は、ブラジル人学校「コレジオ・サンターナ」の児童16人と、甲南第二小学校3、4年児童がお互いの国の遊びで交流、まずは、羽子板、けん玉、竹とんぼなど日本の遊びを行いました。コレジオ・サンターナの児童も挑戦しますが最初はなかなか上手にできません、そこで、甲南第二小の児童が丁寧にレクチャーすると見事成功、大きな歓声が上りました。

一方ブラジルの遊びでは、格闘技「カポエイラ」を紹介、音楽に合わせてみんなで体を動かし楽しみました。

両校児童は遊びを通して文化や風習の違いを学びました。た。でも、遊びは楽しい、という違いはなかつたようです。



▲カポエイラを教わる児童